

新潟市教育委員会 令和7年10月 定例会会議録				
日 時	令和7年10月20日(月) 午後3時30分			
場 所	新潟市役所 ふるまち庁舎 4階 教育会議室1			
教育長	夏 目 久 義			
出席委員 (8名)	中津川 英 子		出席委員	渡 部 雄一郎
	畠 山 典 子			高 橋 誠 一
	石 坂 学			和 田 有 子
	神 林 むつみ		欠席委員	
	小 見 直 樹			
会議出席 教育委員会 事務局職員 (5名)	職・氏 名		職・氏 名	
	教 育 次 長	丸 山 明 生		
	教 育 次 長	山 本 正 雄		
	教育総務課長	加 藤 陽 子		
	学 校 支 援 課 長	内 藤 浩 悟		
	教 育 総 務 課 補 佐	相 崎 敦 子		
他部署 出席者(0名)				

開会	時 刻	午後 3 時 30 分
	宣 言 者	教育長
付議事件 (0 件)		
報告 (1 件)	国際交流推進事業に係るハルビン市への派遣について	
協議会 (0 件)		

第1 開会宣言

- 教育長 午後 3 時 30 分 開会を宣言する。
これより 10 月教育委員会定例会を開催いたします。
本日の報道はありません。なお、会議中に、報道関係者より委員会を撮影及び録音したい旨の申し出がありましたら、これを許可することにご異議ありませんでしょうか。
(異議なし)
それでは、許可することといたします。

会議録署名委員の指名

- 教育長 日程第 1「会議録署名委員の指名」を行います。新潟市教育委員会会議規則第 11 条により、会議録署名委員に石坂委員及び神林委員を指名します。

第2 報告

- 教育長 次に、日程第 2 報告に入ります。
はじめに、国際交流推進事業に係るハルビン市への派遣について、学校支援課から説明をお願いします。
- 学校支援課長 学校支援課です。新潟市国際交流事業ハルビン市派遣についてご説明いたします。令和 7 年度新潟市国際交流事業として、市立高校生 1 名、中学生 5 名、小学生 3 名を、教育長をはじめとする引率者 4 名と共にハルビン市へ派遣いたします。
- 期間は令和 7 年 10 月 26 日、日曜日から 10 月 29 日、水曜日までの 3 泊 4 日です。
- 目的は書いてありますとおり、新潟市の友好都市である中国ハルビン市の児童生徒との交流を通じて、国際社会に寄与する人材を育成するとともに、本市との友好親善を図ることです。
- 裏面に日程が書かれてあります。資料作成時点から変更がございまして、28 日火曜日の黒龍江北劇場見学はなくなりました。また、29 日水曜日の新潟駅到着は 18 時 10 分に訂正をお願いいたします。
- 今週金曜日、10 月 24 日 16 時よりふるまち庁舎にて出発式を行います。帰国後は各自でプレゼン資料等の派遣報告書を作成し、自分たちの学校で報告会を行います。報告会で使用した資料を市教委に提出し、タブレット端末で共有することで市教委への報告としたいと考えております。以上で説明を終わります。
- 教育長 ただいまの説明にご質問やご意見がありましたらお願いします。
- 神林委員 この 9 名がどういう方法で選出されたか教えていただきたいと思います。
- 学校支援課長 はい、まず募集ですけれども、小学校 6 年生から上は高校 3 年生まで、市立学校の方に募集をかけました。10 名枠のところ 60 名参加しまして、かなり倍率の高い選考になりました。
- 1 次審査がグループワークとなります。その前に書類も提出はしていただいているのですけれども、そのこととグループワークで、4 人程度のグループでハルビン市に行ったらどんな交流を行いたいのかということを、こちらの指示はほ

とどなく、グループ内で話し合ってその内容を決めていく、それを私たち指導主事の方で審査を行いました。

2 次の方は、教育長と丸山教育次長から集団面接を行っていただきました。以上です。

○神林委員 グループワークで話し合われたことが、この日程に反映されているのですか。

○学校支援課長 つながりはあるのですけれども、グループワークで見たのは、リーダーシップをどう発揮するかとか、周りのよく知らない初めての友達とどのように声がけをするとか、あるいはアイデアをどんな風にして出しているとか、そういったところを審査の対象にしました。

○神林委員 分かりました。ありがとうございます。

○教育長 他にございますでしょうか。

○畠山委員 友好都市ハルビン市への派遣ということで、こどもたちも日本国内だけではなくて、海外のいろいろな視野を広げるために、とてもいい機会だと思って聞かせていただきました。

その中で 1 点質問なのですが、小学生、中学生、高校生と、年齢の違いがあると思うのですが、その辺り、こどもたちの実態と言うのでしょうか、こういう内容だから小中高一緒にできるとかそういった部分で考えたところはありませんでしょうか。

○学校支援課長 実際、中国のハルビンの学生たちと交流する際にはこども同士でペアを作らせていて、小学生は小学生、中学生は中学生でペアを作って、日本の四季について紹介をしたり、日本の昔遊びについて紹介をするチームなど、発表自体は同じ年齢の子たちとチームを組ませています。

今回の派遣に関しては、縦のつながりも大切だと考えました。高校生や中学校 3 年生、2 年生あたりが下級生の子たちを引っ張っていく、リードしていくということも大切だと考えましたので、小学校の 3 年生 4 年生くらいだと、海外に行ってもちょっと心配がありますので、ある程度しっかりしている小学校 6 年生から、高校 3 年生までということで募集をかけた次第です。

○畠山委員 ありがとうございます。高校生が 1 人ということで、複数名いてもいいのかなと感じたのですけれども、その辺のところはやはり書類選考や面接の結果そうなったのでしょうか。当初はどうだったのでしょうか。

○学校支援課長 高校生は全部で 3 名くらい受けていたと記憶しておりますが、グループワークの様子であったり、面接の様子からこのようになりました。

○畠山委員 ありがとうございます。以上です。

○教育長 他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

私の名前もあるので一言だけ。私ハルビン訪問は 2 回目になります。11 年前ですかね、尖閣事件の後で市長副市長同士の交流ができない時代だったので、国際課長だったので事務訪問だったら来ていいよと言われたので、お忍びのようなかたちで行ったことを覚えております。大変長い歴史があつて、ハルビンは姉妹都市が 50 か 60 くらいあります。考え方が違います

ので、そのぐらい締結されているのですけれども、新潟市は第1号の友好都市ということで大変長い歴史があるところから、お互い訪問を実現するということで、しっかり行ってきたいと思いますし、近年中国はいろいろなことが注目されていますけれども、どちらが優れているとかどちらが進んでいるとかそういう話ではなくて、これまでの歴史も踏まえてフラットな態度で体験、交流できるよう声掛けしながら行ってきたいと思います。行ってまいります。この件については以上です。

続きまして、日程第3 次回日程について、教育総務課から説明をお願いします。

第3 次回日程

○教育総務課長 11月につきましては、11月26日(水)、時間は午前10時30分からを予定しています。

第4 定例会閉会

○教育長 これで定例会を閉会します。

以上、会議のてん末を承認し、署名する。

署名委員 石坂 学

署名委員 神林 むつみ